

令和7年度 江戸川区立南小岩第二小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	◎ 考える子＜問題解決力＞ ○ 思いやりのある子＜人間関係形成力＞ ○ 健康な子＜実践力＞	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	【学校】 ◎いじめを見逃さない学校    ○構りに思える学校    ○希望に落ち遅れ、生き生きと学ぶ学校 【児童】 ◎自ら学び、課題を見つけ、よりよく解決することができる子    ○自他のよさを尊重し、それを社会に役立てようとする子 【教師】 ◎自ら健康づくりに努め、明るく活気ある生活を送ることのできる子    ○指導の向上を図り、児童が楽しく学習できるようにする教師    ○できたことをほめ、児童と共に喜ぶ教師 ○教育目標をより具体化するための指導にあたる教師
前年度までの本校の現状	成果 ユニバーサルデザインの視点に立った授業改善に取り組んだ。 外部人材を活用した学力向上に関する取り組みを推進できた。	課題 ICT活用・学力向上・体力向上に関する取り組みを充実させていく。 ユニバーサルデザインの視点の授業改善をさらに進めていく。	

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		評価	自己（学校）評価(A～D)	「中間」 学校関係者評価(A～D)	「年度末」 自己（学校）評価(A～D)	「年度末」 学校関係者評価(A～D)	次年度に向けた 改善案
				9月	2月		コメント	評価	コメント	評価	
学力の 向上	○基礎・基本の定着	・二つ子学習スタイルの定着 ・家庭学習強化進捗の実施 ・放課後学習教室、スーパertime（学級後の放課後補習）の実施 ・保護者ボランティアの協力による基礎タイムの実施 ・東京ベシッドドリル、区学力定着度調査の実施	・3学期65％以上が全項目達成 ・各学期1回 ・年3回、放課後30分程度 ・毎週水曜日、朝15分間 ・3年生以上、各学期1回	90%	95%	A	・1学期57％が全項目を達成した。 ・2学期のスタディワークを実施。 ・1学期は計画通り実施した。 ・保護者の協力で基礎タイムを行っている。 ・1学期初、末に東京ベシッドドリル、区学力調査を実施した。	・個別対応に協力していることに感謝します。基礎タイムを、有意義に感じている。 ・「二つ子学習スタイル」の10項目が毎日の振り返りにより確実に定着すると思う。	・2学期60％が全項目を達成した。 ・年間を通してスタディワークを実施できた。 ・基礎タイムは毎週行えた。 ・1月に3回目の実施をした。	・二つ子学習スタイルが定着するように継続してほしい。 ・区や国の学習進捗結果をもとに、家庭学習や放課後学習の指導内容を精査する。	
	○巡回指導の充実	・巡回指導教員、特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員及び各担任との情報共有、個別指導への活用 ・保護者への理解の促進（保護者会での案内）	・毎日実施、情報共有実施率100％ ・毎学期実施、当該保護者満足度90％以上	100%	100%	A	・毎回の指導について情報共有を行っている。 ・1学期に巡回指導の保護者会を実施した。	・年毎から忍耐強く対応頂いている様子を拝見した。ありがとうございます。 ・子供たちが色々な面で見守られている。	・巡回指導ファイルを基に、効果的に児童支援ができた。 ・計画通り巡回指導の保護者会を実施した。	・取組に対して保護者の理解度も高い。 ・巡回指導員とコーディネーター、専門員、担任が密に連携を取っていく。	
	○読書育の更なる充実	・読書意欲の向上 ・読書への関心を高める「よむYOMUワークシート」の実施	・読書タイム週2回以上、読書週間年2回、読み聞かせボランティア毎週木曜日実施 ・4年生以上、年30回	90%	90%	A	・朝読書、読み聞かせボランティアは計画通り実施している。 ・よむYOMUワークシートは現在まで14回実施した。	・読書や聞く事の関心が高くなってきて感謝している。 ・読書タイムの充実が読書意欲を向上させている。	・年間を通して予定通り実施できた。 ・よむYOMUワークシートは、現在25回分実施し、年度内には30回実施予定である。	・読み聞かせの授業を参観したが子供たちの意欲を感じた。 ・読書意欲向上への取り組みが素晴らしい。	
	○IGAスクール構想の更なる実現	・授業の中での児童用iPad活用 ・個別学習や家庭学習としてドリルパークやまぐランドを活用	・毎回の授業で5分以上活用 ・週1回以上、日常的に活用	70%	75%	B	・毎時間の活用はできていない。60％程度になっている。 ・朝学習、授業、家庭学習で日常的に活用している。	・iPadでの授業はすこく良いと感じる。ただ画面を見近づきすぎたに注意してみてほしい。	・単元によっては毎回使っているが、使えない場面もあり、教員があてていない。 ・ミライシードの日常的な活用はできている。	・iPadを活用できるよう指導をしてほしい。 ・校内研究をICT教育として、効果的な活用方法を検討していく。	
体力の 向上	○運動意欲や基礎体力の向上	・ミニタム（運動遊び）の実施 ・運動遊びに生かす為、体力テストの結果分析 ・江戸川つ子縄跳びワーク（短縄）の実施 ・縄跳びコンテストの上位入賞 ・学期毎の行事（運動会、長縄、持久走）の継続実施	・年間、毎週水曜日 ・2学期以降実施 ・年3回、実施率100％ ・区内の上位入賞 ・各行事及び練習期間実施率100％	90%	85%	A	・2学期から火曜日の朝と昼に実施している。 ・3学期の縄跳びワークも長縄、長縄を予定している。 ・3学期も体育の学習の中で取り組んでいる。 ・年間を通して計画通り実施できた。	・活発な環境が健康維持に役立っていると感じる。 ・具体的な取組により子供たちが楽しみながら頑張っている様子が見られほえる。	・雨も少なく、予定通り実施できた。 ・3学期の縄跳びワークも長縄、長縄を予定している。 ・3学期も体育の学習の中で取り組んでいる。 ・年間を通して計画通り実施できた。	・継続して取り組んでほしい。 ・年間を通して計画通り実施できている。	
教育・共生社会の 推進	○インクルーシブ教育の推進	・ユニバーサルデザインの視点での学習環境整備 ・ユニバーサルデザインを視点とした校内研究 ・ワークシートによる個別化対応 ・副読交流等の計画の実施	・教室環境、言語環境整備100％ ・年11回実施 ・対象児童保護者の満足度90％以上 ・副読交流等の実施率100％	90%	90%	A	・学校で統一して、教室環境を整備した。 ・9月までに5回の校内研究を実施した。 ・巡回指導教員と連携して対応している。 ・副読交流は計画通り実施した。	・継続をお願いしたい。	・現在まで9回の校内研究を実施し、3月までに11回実施予定。 ・ワークシートを基に、個に応じた対応ができている。 ・3学期も予定通り実施している。	・年間を通して計画通り実施できている。 ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業は継続して取り組んでいく。	
	○体験的活動、自主活動の推進	・地域人材、外部人材を活用した共生社会実現に向けた教育の推進 ・たてわり班（異学年交流）の実施 ・あいさつ運動の実施 ・高学年全員による数回隊の実施	・年3回 ・異学年交流年間計画実施率100％ ・通年 ・区民祭り等への参加	100%	100%	A	・2学期にボニー体験、能楽教室を予定している。 ・11月の校内オリエンタリングに向けて、たてわり班活動を計画的に実施した。 ・代表委員会によるあいさつ運動は通年で実施する。	・区民祭りでの数回隊素晴らしい。将来を楽しみに思う。	・予定通り体験的活動を実施できた。 ・2月のお別れ給食に向けて計画をしている。 ・代表委員会が分団し、朝のあいさつ運動をすることができた。	・年間を通して計画通り実施できている。 ・外部の物的・人的資源の活用を進めていく。	
不登校・ 欠け・いじめ対策の 充実	○子どもたちの健全育成に向けた取り組み	・「L-Gate」による毎日の振り返り ・道徳教育の充実、いじめ防止授業の実施 ・校内委員会の効果的実施、全職員での支援体制の構築	・全学級、実施率100％ ・継続実施率100％ ・年3回、実施率100％ ・毎月実施	80%	85%	B	・帰りの会で全学年で実施している。 ・道徳においていじめ防止の授業を実施している。 ・校内委員会は毎月実施している。	・思いやりの環境づくりが、子どもたちの健全性を育む。 ・いじめ防止基本方針で、先生方の組織的な取組と事態収拾に期待する。	・実施できない日もあった。毎日実施を目指して取り組んでいく。 ・年3回のいじめ防止授業は実施できた。 ・校内委員会は予定通り実施できた。	・いじめ防止基本方針で先生方の組織的な取組と事態収拾に期待する。 ・L-Gateの活用、道徳授業の充実により、いじめの未然防止に努める。	
	○関係機関との連携によるいじめ、不登校等への対応	・SC（おかしな村）SSW（おかしな村）との連携、適切な活用 ・いじめ対策委員会による組織的対応 ・エンカレッジルームの活用	・情報共有率100％ ・事案の速に開催 ・事実把握後1週間以内で行動、成果の報告 ・保護者との連携100％	90%	90%	A	・SC、SSWと連携し、情報共有をしている。 ・いじめに該当する件について、いじめ対策委員会を開催した。生活指導連絡会は毎週行っている。 ・エンカレッジサポーター2名体制で運営できている。	・エンカレッジルームの活用もあり、様々な方が子供たちを見守って頂けていることに感謝している。	・SC、SSWとは密に連携をとれている。 ・毎週の生活指導連絡会で、情報共有をすることができた。 ・エンカレッジサポーターにより不登校傾向の児童の登校支援に繋がれた。	・きめ細かく指導している。 ・エンカレッジルームの活用が、児童の登校支援に繋がれたことが素晴らしい。 ・今後の見守りに期待する。	
学校（関係者）と地域・社会との 連携	○地域との共育・協働	・HP（おかしな村）等による情報公開 ・学校応援団との連携	・毎日更新、各学年2月2回以上更新 ・学校関係者評価A	95%	100%	A	・HPは毎日更新している。またテトルによる情報発信を日々行っている。 ・応援ボランティアと連携して図書室の整備を行っている。	・地域のお祭り・PTA関連行事への教員の参加に、子どもたちがとても喜んでいて褒めが印象的だった。	・継続して発信することができた。 ・町会と連携して整備できた。	・地域イベントに沢山の生徒が参加できるような企画していきたい。 ・子供達のために地域との情報共有・協働が密になることを期待する。	
	○学校関係者評価の充実	・学校経営方針の保護者、学校関係者への周知・年度当初 ・保護者アンケートの実施、結果の周知 ・教職員及び学校関係者中間評価による方針の修正及び追加、年度末評価の実施による次年度改善案の立案	・年度当初 ・定期（年2回）、各行事後（毎回）に実施し、1か月以内の結果周知 ・9月、2月に実施後、改善案を立案 ・学校関係者評価A	90%	90%	A	・学校経営案は保護者や学校関係者に周知し、HPにも掲載した。 ・保護者アンケートの1回目を実施した。 ・中間評価を行っている。	・計画性を持って取り組まれていること、年間を通して安定した様子に感謝する。	・保護者アンケート2回目も実施した。 ・2月の評議員会で最終評価を受ける。	・学校の様子を見たり聞いたりすることで、子供会活動に生かしていきたい。 ・学校評議員との連携を深めていく。	
	○学校における働き方改革プラン	・C41hの積極的活用、ペーパーレス促進 ・各分掌による文書総量、各分掌ルートによる進行管理 ・会議の効率的な実施及び時間短縮 ・SSS（おかしな村）等の有効活用 ・定時退勤日の実施 ・教科担任制の推進、協働体制 ・育児休業等休暇、休業制度の活用促進	・毎日、C41h活用率100％ ・継続実施率100％ ・20分以内、継続実施率100％ ・活用率100％ ・月1回実施、残業40時間以内 ・4～6年で実施 ・教職員への周知100％	90%	95%	A	・C41hは日々活用している。 ・文書の総量はルート通り回っている。 ・1回の会議が20分以内で行えている。 ・効果的にSSSを活用している。 ・80％以上は残業40時間以内である。 ・計画的に教科担任制を行っている。 ・今年度1名の男性教員が育児を取得中である。	・学校環境が継続的に安定出来ることを望む。 ・具体的な取組内容を聞き、とても期待している。	・C41hは毎日活用できた。 ・100％実施できた。 ・会議も精進した。 ・SSSの効果的な活用により、残業時間は減少している。 ・4年生以上で教科担任制を実施できた。 ・来年度1名が育児を取得する。	・働き方改革は難しいが、子供たちのために引き続き頑張っていく。 ・保護者からの肯定的評価が多い事は素晴らしい。 ・校内研究の柱として、ICT活用による働き方改革を促進していく。	
教育・特色ある 展開	○教員の授業力向上	・週毎の指導計画に基づく教育活動の計画の実施及び反省の記載 ・ユニバーサルデザインの視点に立った授業の実施	・週返、活用率100％ ・校内研究授業実施100％	90%	90%	A	・進歩を毎日提出させている。 ・校内研究には全員が参加している。	・教員と子どもとの心の距離がとて近く感じられ、担任のみならず学校全体で子どもを見守っている環境に感謝する。教員のサポート体制について、よりよい環境を作ってほしい。	・年間を通して提出できた。 ・100％実施できた。	・先生方の意欲が感じられ、とても良い環境だと思ふ。 ・来年度も確実に週毎の指導計画を作成し、指導に当たる。	